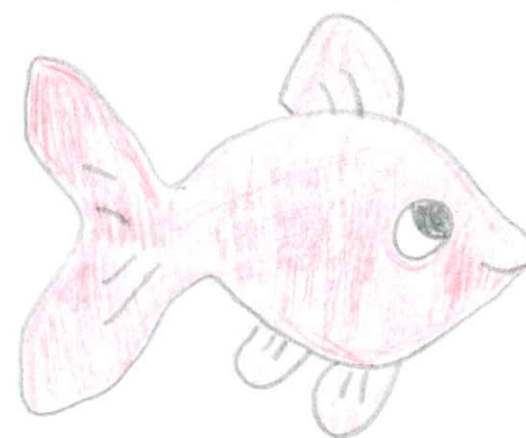
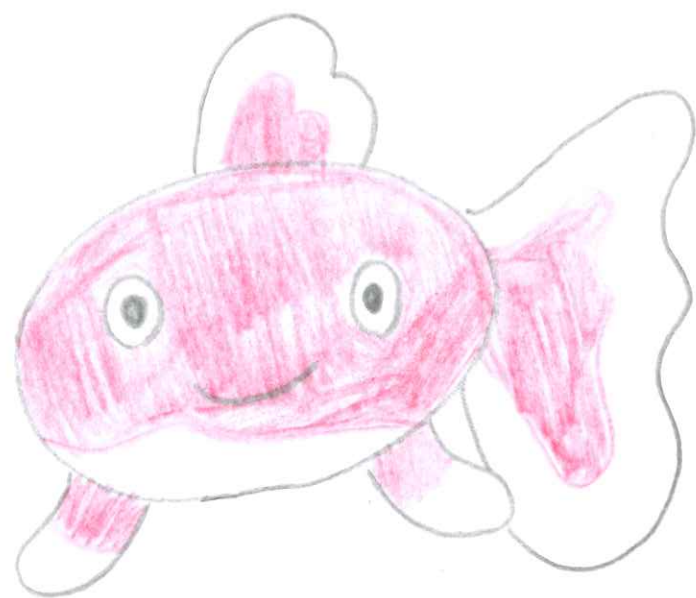


金魚の稚魚

～色の変わり方研究～



もくじ

1. 始めに
始めるきっかけ

2. 準備
卵を産ませる

3. 考察
実験の予想

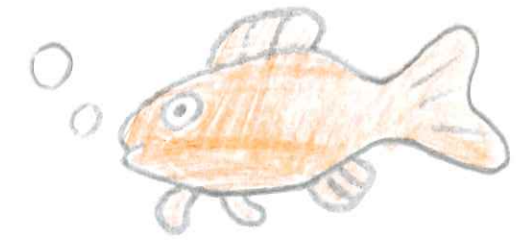
4. 実験

色はいつ変わる?

5. 結果
実験から分かること

6. 課題
次に生かすために

7. 振り返り
2～5を受けて



1. 女台めに

ぼくが、このコンクールをしようと思った理由
は、あやめ祭りに出会ってからです。5才のこ
ろ、あやめ祭りで取った金魚を飼育しました。そ
こから毎日、観察日記を書き始めました。
1年生の時にこのコンクールに出会い、6年間準
備をしてきました。何十回も試行錯誤をく
り返し、6年生の時に1つの作品を作る
ことができました。

2、準備

卵を産ませるために、図1と2の金魚で卵を産ませることにしました。2匹の水そうの温度を 20°C にし、産卵床を入れました。その後、3日たったら無事に、約1000個の卵を産みました。



準備する物

・バケツ

・あみ

・エアポンプ

・産卵床 

・エアチューブ

・エアストーン  

・カルキぬき

・スポイト

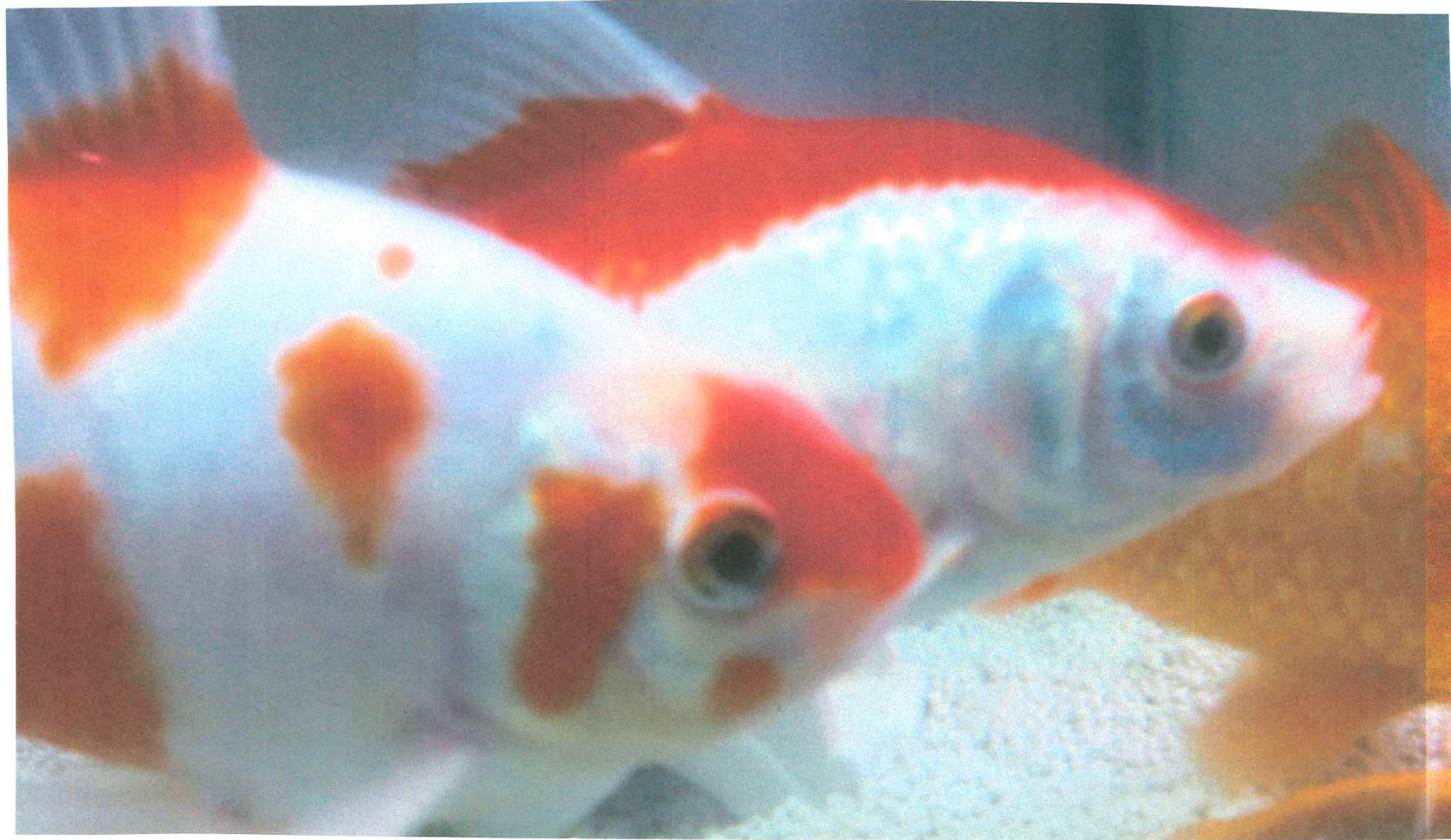


(小さいのと大きいの)

・金魚のエサ・ゆでたまごの黄身

3. 考察

ぼくは、卵が産まれた後、メダカと似ていて、大きくなるにつれて色も赤が少しずつつき始めると思いました。



4. 実験

左に日数、右に写真で書きます。

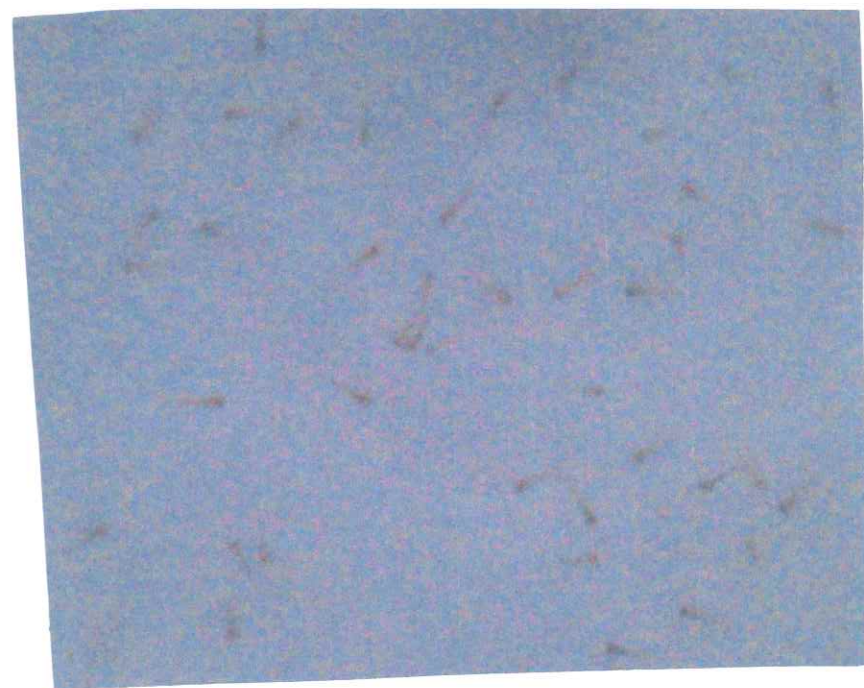
0日目

- ・かべにくっついていてる。
- ・少し黒色。

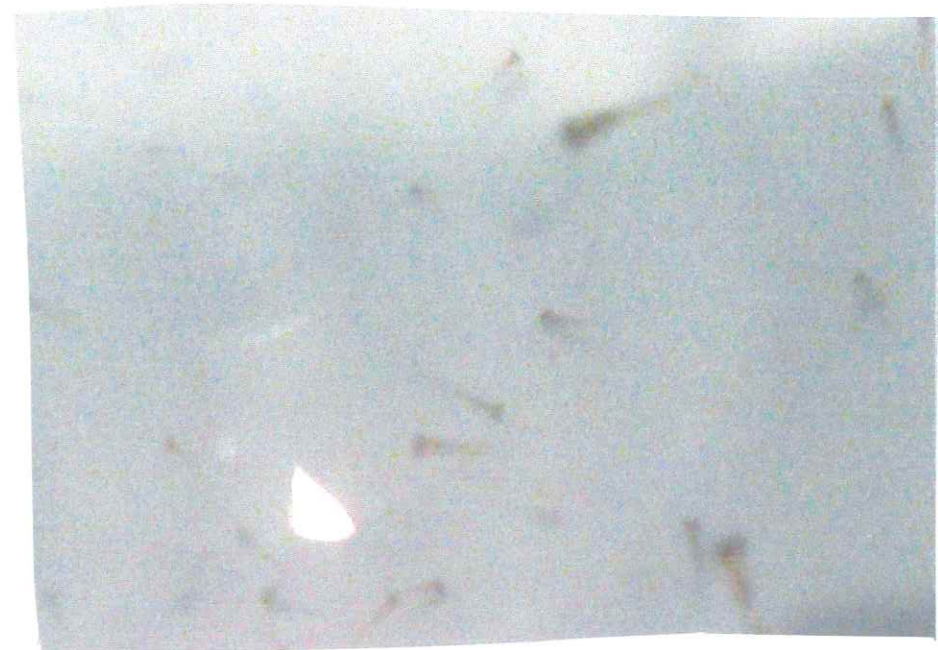
・4mm

3日目

- ・かべからはなれた。
- ・エサを食べた。



14日目
・うす灰色になった。
・9mm



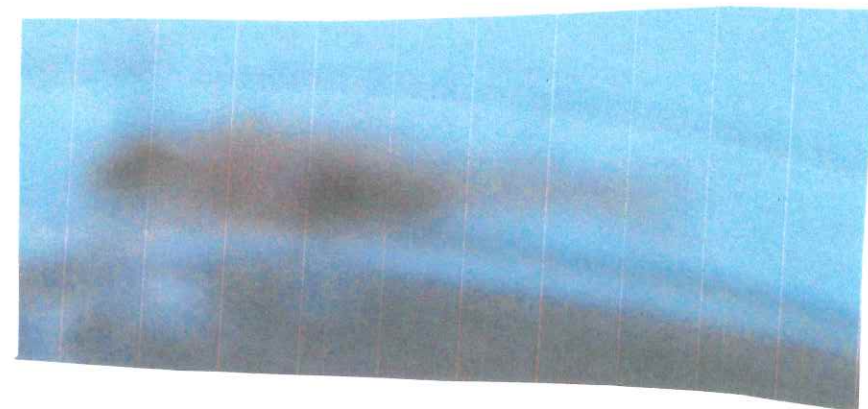
29日目
・黄色になった。
・全体的に成長した。
・20mm



37日目

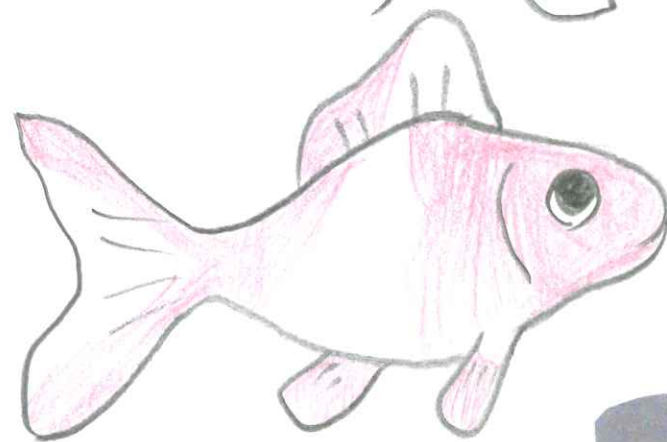
・赤色になった。

・50mm

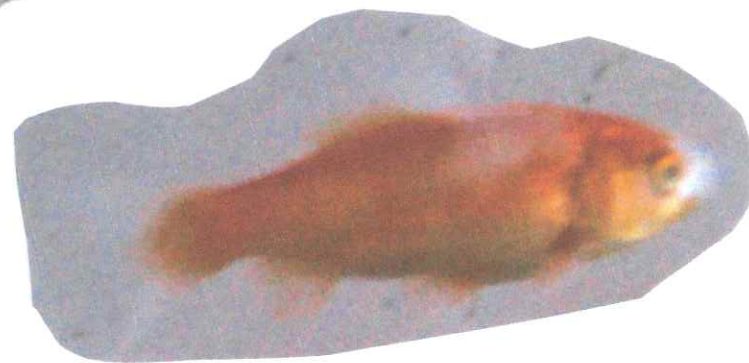


4. 結果

金魚はだいたい1か月くらいで色がつき終わることが分かりました。生まれた時が黒色になり、そこからうす灰色→黄色→赤色となりました。



昨年育てた稚魚



6、課題

- ・屋内飼育だったから、色のつき方にちがいがあつたかもしれない。
- ・エサの種類によって、育ち方がちがつたかもしれない。

7、ふり返り

今回、このコンクールをして気付いたことは、観察の大切さです。観察をしていると、ふたんどちがうところを見つけられて、金魚などの健康状態を知ることができるからです。

考察とちがっていたけども、メダカと金魚の色の
つき終わりは、2か月以上も差があるということ
を知って、びっくりしました。他の生き物の稚魚
も、調べてみたいと思います。
・その後いっしょにした仲間達。



ひめたま
(流金)

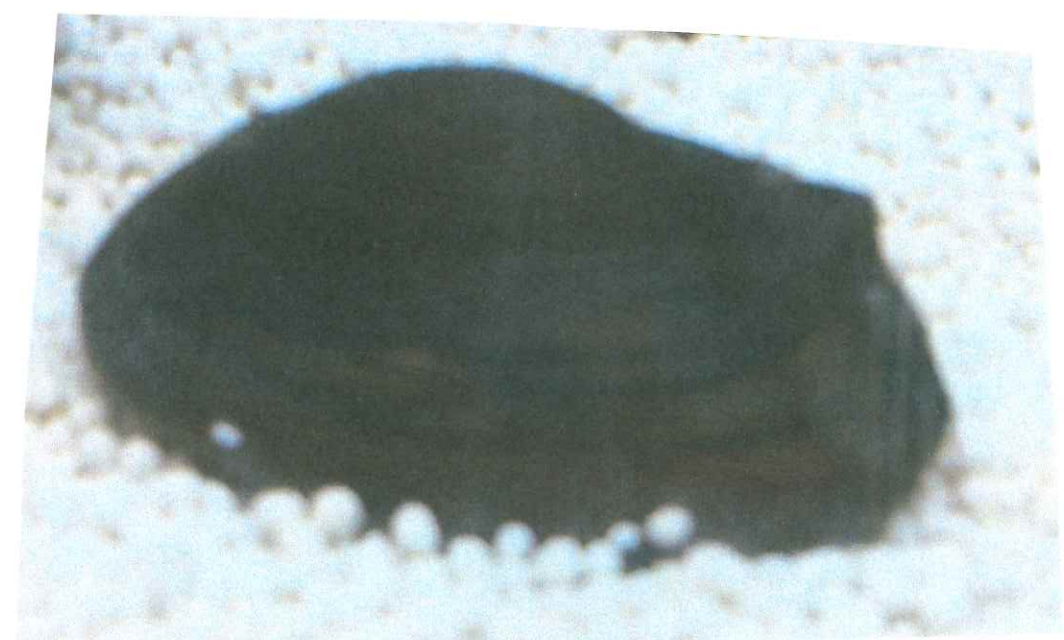


ひじょっち
(ヒトジョウ)

★兄弟★



左→にいあか
右→ちいあか
(小赤)



こもた
(ドブ貝)



左上→うなん(しょうない金魚)
右上→オレンジ(ワキン) 下→てんてん(コメト)